

## 平成28年度夏季展 歌仙兼定登場



歌仙兼定と呼ばれる一振りの刀があります。室町時代後期の美濃国関（現・岐阜県関市）を代表する刀工・二代兼定（之定）によって打たれ、肥後熊本藩の基礎を作った細川忠興の愛刀でした。その拵は「歌仙拵」と呼ばれ、黒漆鮫革研出の技法は「肥後拵」の規範として後代まで伝えられました。

本展は「細川護立と刀剣」「細川忠興の愛刀と肥後拵」「細川家の武器武器の記録」「幽斎と古今伝授」「宮本武蔵と細川家」「刀装具の世界—肥後金工と細川家—」をテーマに構成します。永青文庫の創設者・細川護立（1883～1970）の蒐集になる国宝「太刀 銘 豊後国行平作」、国宝「刀 金象嵌銘 光忠 光徳（花押）生駒讃岐守所持」などの名刀、忠興ゆかりの武器武器、熊本を代表する多彩な刀装具の工芸など、細川家が守り、後世に伝えた武家の精神と匠の造形をご覧ください。

左：「刀 銘 濃州関住兼定作（歌仙兼定）」室町時代（16世紀）  
 右：「歌仙拵」江戸時代（17世紀）

### ■ 開催概要

展覧会名：歌仙兼定登場

会期：2016年7月9日（土）－10月2日（日）

会場：永青文庫

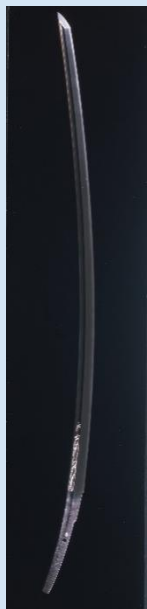
開館時間：10：00～16：30（入館は16：00まで）

休館日：月曜日（但し7/18、9/19は開館し、翌日休館）

入館料：一般1000円（※900円）、シニア（70歳以上）800円（※700円）、大学・高校生400円、中学生以下無料

※は10名以上の団体料金。障害者手帳をご提示の方およびその介助者（1名）は無料。

### ■ 主な出展作品



「黒鞘巻図」寛政元年（1789）7月



「桜九曜紋透鐔 銘 又七」  
 林又七作  
 江戸時代（17世紀）



「霞桜文透鐔 銘 又七」  
 林又七作  
 江戸時代（17世紀）



「黒糸威二枚胴具足（細川忠興所用）」  
 桃山時代（16世紀）

左：国宝「刀 金象嵌銘 光忠 光徳（花押）生駒讃岐守所持」鎌倉時代（13世紀）  
 右：国宝「太刀 銘 豊後国行平作」平安～鎌倉時代（12～13世紀）

【お問い合わせ】公益財団法人 永青文庫

〒112-0015 東京都文京区目白台1-1-1 TEL: 03-3941-0850 FAX: 03-3943-0454

広報画像申請書

平成28年度夏季展「歌仙兼定登場」  
2016年7月9日(土)～10月2日(日)

貴社名:	媒体名:
ご担当者名:	ご所属:
TEL:	FAX:
ご住所:	
E-mail:	掲載予定日: 年 月 日

掲載概要:(コーナー名、画像の掲載サイズ など)

◆ご希望の写真番号に○を付けてください。



1



2



3



4



5



6



7

- 1.「刀 銘 濃州関住兼定作(歌仙兼定)」16世紀
- 2.「歌仙拵」17世紀
3. 国宝「刀 金象嵌銘 光忠 光徳(花押) 生駒讀岐守所持」13世紀
4. 国宝「太刀 銘 豊後国行平作」12～13世紀
- 5.「黒鞘巻図」寛政元年(1789)7月
- 6.「桜九曜紋透鐔 銘 又七」林又七作 17世紀
- 7.「黒糸威二枚胴具足(細川忠興所用)」16世紀

【広報画像ご使用に際してのお願い】

※写真の使用は、本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。

※展覧会名、会期、会場、作品名称、所蔵者を必ずご掲載ください。

※掲載誌は1部ご恵贈願います。

【個人情報の取扱いについて】

※ご記入いただきました個人情報は、当館からの展覧会情報のご案内にのみ使用いたします。

許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。